

2011年度第3回

日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会・議事録

日時:2011年9月14日水曜日18:30-21:00

場所:東洋大学白山校舎2号館 会議室

出席者:大島巖(日本社会事業大学)、森田明美(東洋大学)、福山和女(ルーテル学院大学)、
荒井浩道(駒沢大学)、岡部卓(首都大学東京)、北本佳子(昭和女子大学)、
田嶋英行(文京学院大学)、竹之内章代(東海大学、社会福祉士会)、河東田博(立教大学)、
山田知子(大正大学)、贅川信幸(日本社会事業大学)
事務局:李載徳(日本社会事業大学)

敬称略、順不同

報告

1. 研究大会(2010年度分研)の開催について

- 1)準備の経過:今回は震災等なく無事に開催できた。
- 2)広報:会員が多かった。非会員は参加できないと思ったり、参加費がかかると思っている人がいる。
より十分な周知が必要。
- 3)参加者数:67人参加
- 4)自由研究報告は3月に予定した報告者が全員報告。各会場とも質の高い報告となった。

議事

1. 次回・関東部会研究大会

- ・前回研究大会における午前中の自由研究報告、記念講演、特別講演、シンポジウムの設定は良かった。次回もこれを継承する。
- ・大会テーマは、大震災と社会福祉学研究の貢献に関する内容で設定。
- ・基調講演は影響力のある講師を選ぶ。東洋大学の古川孝順教授に当たる(森田委員より)。
震災を経て社会福祉学が、何を次世代の社会福祉学研究者たちに何を残して行くことができるのか、について講演して頂く。
- ・ワーキンググループを設定して、シンポジウムの構成、テーマ設定などを検討する。
担当委員:山田委員、河東田委員、岡部委員、北本委員、田嶋委員、森田委員、大島委員
- ・ホームページやメーリングリストでの広報を、11月までには流せるようにする。
- ・10月の社会福祉学会秋季大会時に、検討の時間をもつ。

2. 社会福祉評論の発行、編集委員会の関連

- ・9月30日に編集委員会を開催し、編集委員と査読委員の役割分担のあり方、進め方、投稿の方式や投稿期日の設定、規定類の改正などについて議論する。

3. ホームページの改修、バックナンバーの電子ジャーナル化について

- ・バックナンバーの電子ジャーナル化の著作権許諾手続きの進め方を、9月30日の編集委員会時に議論する。

4. ニュースレターの発行について

- ・例年より少し早めに発行予定。
- ・メーリングリストでもニュースレターの情報を流す。
- ・研究大会案内が12月時点で決まっていれば、ニュースレターに掲載する。

5. 研究奨励賞について

- ・関東部会独自予算との関係で継続的に議論を進める。

6. 関東地域部会の運営委員、理事、その他の担当者について

- ・メール連絡がまったく取れない委員もいる。
- ・社会福祉学会秋季大会時などに継続意思の確認を取る。

次回：2011年10月の社会福祉学会秋季大会時に日程設定する

(記録：日本社会事業大学・李載徳子(事務局)、大島巖)